

現代狂言



～狂言とコントが結婚したら～

南原清隆

野村万蔵

番組

古典狂言「千切水」

新作狂言「不思議なフシギな鳥獣茶会」

作 南原清隆 演出 野村万蔵



佐藤弘道



セイン カミュ



ドロズ石本



森一弥
(エネルギー)



平子悟
(エネルギー)



石井康太
(やるせなす)



大野泰広



岩井ジョニ男
(イワイガワ)



三浦祐介

2016年3月6日 日 14:30開場 15:00開演



所沢市民文化センターミュージズ マーキーホール

料金◆S席3,500円 A席3,000円 高校生以下2,000円

チケットのお求めは ミュズチケットカウンター

TEL:04-2998-7777

発売/メンバーズ:11月21日(土) 一般:11月28日(土)

○チケットぴあ..... 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>

○ローソンチケット... 0570-000-407 <http://l-tike.com/>

*未就学児の入場はご遠慮ください。
*開演に遅れますとご入場を制限させていただく場合があります。時間に余裕をもってご来場ください。
*駐車場は大変混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。

お問い合わせ 公益財団法人所沢市文化振興事業団

〒359-0042 所沢市並木1-9-1
TEL:04-2998-6500
<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

所沢ミュージズ 検索

「航空公園駅」東口より徒歩10分・バス3分

西武新宿線・航空公園駅まで

■「池袋駅」より約30分(所沢駅乗り換え)

■「本川越駅」より約20分

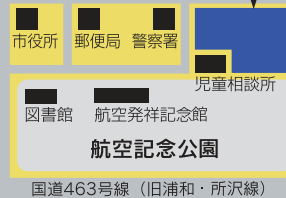
■「高田馬場駅」より約35分

■「西武新宿駅」より約40分

■「JR国分寺駅」より約20分(東村山駅乗り換え)

至本川越
航空公園駅
西武新宿線
至所沢

MUSE
TOKOROZAWA



国道463号線(旧浦和・所沢線)

南原清隆と、九世野村万蔵がタッグを組み、コントと狂言をコラボレーション!

テレビ番組の企画をきっかけにはじまった現代狂言は、即興性とスピードに特徴がある現代の笑いと言語を古典をコラボレーションする事で、時代を超えた人間の喜怒哀楽を表現した作品です。そこで語りかけるテーマは深い共感を呼び、「涙と笑い」を求める日本人の心の琴線にふれ、年齢や性別を問わず大きな感動と爆笑の渦を巻き起こします!

演目

◆ 古典狂言「千切木(ちぎりき)」

連歌の初心講(初心者の勉強会)の当番になった者(当屋)は、太郎冠者に講の仲間たちを呼んでくるように言いますが、嫌われ者の太郎には声をかけないようにと言いつけます。皆が集まり連歌の発句を考えていると、そこに腹を立てた太郎が乗り込んできました。さんざん悪態をついた太郎は……。

千切木とは乳の高さで切った棒で、荷を担ぐほか武器としても用いられました。どこでこの棒が活躍するのか、また太郎の妻のキャラクターにも注目です。

◆ 新作狂言「不思議なフシギな鳥獣茶会」

作:南原清隆 演出:野村万蔵
＜楽士＞和田啓(打楽器)
稲葉明德(管楽器)

当日お楽しみに!

南原清隆さんからのメッセージ

初めて見る方も、今までに見て頂いた方もいらっしやと思いますが、とにかく気軽に楽しんでいただければと思います。堅苦しくなく、ただ楽しんで三世代と一緒に観られる舞台になっていますので、どうぞ、おじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さん、お子さん、お孫さんを是非誘って、一緒に笑いに来てください。



2014.2/22「現代狂言Ⅶ」所沢ミュージアム公演の様子

出演者 プロフィール



南原清隆

1985年、内村光良と「ウッチャンナンチャン」を結成し、「お笑いスター誕生!!」(日本テレビ系)出演。以後お笑い番組への出演のみならず、バラエティ番組司会、スポーツキャスターなど多方面で活躍している。2011年には司会を務める「ヒルナンデス!」がスタート。狂言のほか落語にも取り組み古典芸能に造詣が深い。



佐藤弘道

1993年4月よりNHK「おかあさんといっしょ」の第10代目体操のお兄さんとして12年にわたり出演、全国的な人気を博す。親子体操教室開催、講演会など幅広く活動展開している。2007年の現代狂言Ⅱから参加し、その身体的能力をいかして活躍。現代狂言Ⅷでは古典狂言「口真似」のアドをつとめた。



ドロンズ石本

1995年お笑いコンビ、ドロンズ結成。バラエティ番組で「アメリカ大陸ヒッチハイクの旅」に挑戦し、人気者になる。2003年コンビを解散し、その後はタレントとして活動。グルメ番組や旅番組などのレポーターのみならず、ドラマや舞台の俳優としても活躍中。「馬肉屋たけし」をオープンし、芸能人の集まる人気店である。現代狂言には2006年の旗揚げ公演から参加している。



石井康太(やるせなす)

1994年、渡辺プロダクションのネタ見せに初参加する。中村豪とのコンビやるせなすを結成、お笑い芸人として活躍。現在は、個々の活動にも取り組み、海外旅番組のレポーターなどで世界をまわる一方、役者として小劇団の中心となって公演活動を行っている。現代狂言には2009年の現代狂言Ⅳから参加。



岩井ジョニ男(イワイガワ)

2003年、井川修司とコンビ「イワイガワ」を組む。テレビ番組や舞台で活躍、単独ライブも開催している。ちよび髭と黒メガネ、サラリーマンスーツがトレードマーク。2007年の現代狂言Ⅱ、2008年の現代狂言Ⅲ、2014年の現代狂言Ⅸと参加している。



野村万蔵

狂言和泉流 野村万蔵家九代目当主として、国内外で公演活動を展開。古典狂言以外にも復曲新作の能や狂言現代劇にも出演、英国喜劇の演出を手掛けるなど幅広く活動している。東京藝術大学、桜美林大学、日本体育大学非常勤講師、劇団青年座講師。重要無形文化財総合指定者。父は人間国宝 野村萬。



セイン カミュ

現在TBS「世界さまぁ〜リゾート」TX「和風総本家」NHKワールド「Sports Japan」等のレギュラーの傍ら、イクメンプロジェクトメンバーとして全国で講演活動を行っている。また、日本古来よりの伝統芸能や文化に精通する外国人として知られる。大叔父にはノーベル文学賞作家アルベール・カミュを持つ。



森一弥・平子悟(エネルギー)

1993年コンビ結成。森一弥は、レスリングの東京都大会50kg級で優勝、全国大会で6位、ハワイ大会で3位という輝かしい成績を残す。平子は宅地建物取引主任者と紅茶ソムリエの資格を持つ。狂言の才能を評価されたことからネタにとり入れた「狂言コント」で平成23年度花形演芸大賞銀賞を受賞。現代狂言には2006年の旗揚げ公演から参加している。



大野泰広

2007年お笑いコンビ「ハレルヤ」解散後、役者に転向。「ちよっとおもしろい俳優」を目指し、舞台に精力的に出演。コメディからシリアスまで、演技力には定評がある。2008年現代狂言Ⅲより参加。演出助手として稽古場の要も任されている。近年では、劇団「東京ミーコ」を旗上げし自ら脚本・演出を手掛けるなど、創作活動の幅も広がっている。



三浦祐介

北区つかこうへい劇団出身。つか作品をはじめ、数多くの舞台、TV、映画に活躍。退団後に現代狂言を観て感動、万蔵師にラブコールを続け、念願かなって昨年より参加している。